

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公表番号】特表2010-527485(P2010-527485A)

【公表日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2010-508443(P2010-508443)

【国際特許分類】

G 0 8 B 13/24 (2006.01)

G 0 8 B 13/19 (2006.01)

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

【F I】

G 0 8 B 13/24

G 0 8 B 13/19

G 0 6 K 17/00 F

G 0 6 K 17/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セキュリティシステムにおける電力使用を管理するための方法であって：

検出領域を確立するステップと；

前記検出領域における人物の検出に基づく人物検出イベントをトリガするステップと；

前記人物検出イベントのトリガに応じて、タイマーを開始させるステップと；

前記タイマーが終了するまで、タグ取り調べ信号を送信するステップと；

を含む、方法。

【請求項 2】

前記人物の運動の相対方向を判定するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記相対方向が送信有効化方向にある場合、前記人物検出イベントがトリガされる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記人物検出イベントのトリガに応じて、人物検出イベントフラグを設定するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記人物検出イベントのトリガに応じて、送信機タイマーフラグを設定するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記人物検出イベントは、人物が前記検出領域内の人物検出線を越えたことの検出を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記人物検出線は、人物検出センサーを使用して発生される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記人物検出センサーは赤外線ビームセンサーである、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記タイマーを所定の時間の長さに設定するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

セキュリティシステムにおける電力を管理するためのシステムであって：

選択された領域に印加電磁界を生成する送信機と；

前記選択された領域を通過する人物を検出するセンサーと；

プロセッサであって、

前記検出領域における前記人物の検出に基づく人物検出イベントをトリガし、

前記人物検出イベントのトリガに応じてタイマーを開始させ、

前記タイマーが終了するまで、タグ取り調べ信号を送信する、

ように動作するプロセッサと；

を含む、システム。

【請求項 11】

前記プロセッサは、前記人物の移動の相対方向を判定するようにさらに動作する、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記相対方向が送信有効化方向にある場合、前記人物検出イベントがトリガされる、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記プロセッサは、前記人物検出イベントのトリガに応じて、人物検出イベントフラグを設定するようにさらに動作する、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記プロセッサは、前記人物検出イベントのトリガに応じて、送信機タイマーフラグを設定するようにさらに動作する請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記人物検出イベントが、人物が前記検出領域内の人物検出線を越えたことの検出を含む、請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 16】

前記人物検出線は、人物検出センサーを使用して発生される、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 17】

セキュリティシステムのためのコンピュータ可読プログラムであって、前記プログラムをコンピュータ上で実行すると、前記コンピュータは：

検出領域を確立するステップと；

前記検出領域における前記人物の検出に基づく人物検出イベントをトリガするステップと；

前記人物検出イベントのトリガに応じて、タイマーを開始させるステップと；

前記タイマーが終了するまで、送信機を有効化するステップと；

を含む方法を実行する、コンピュータ可読プログラム。

【請求項 18】

前記人物の移動の相対方向を判定するステップをさらに含む請求項 17 に記載のコンピュータ可読プログラム。

【請求項 19】

前記相対方向が送信有効化方向にある場合、前記人物検出イベントがトリガされる、請求項 18 に記載のコンピュータ可読プログラム。

【請求項 20】

前記タイマーを所定の時間の長さに設定するステップをさらに含む、請求項 17 に記載のコンピュータ可読プログラム